

令和2年 港区内の交通事故概要と傾向

令和3年5月18日 資料No.1-2
交通・環境等対策特別委員会

交通事故発生状況 (1 ページ目)

- 全国では事故件数と死者数が共に減少したが、東京都と港区では、事故件数が減少したものの、死者数は令和元年から増加。

	年別	事故件数	死者
全国	令和2年	309,000	2,839
	令和元年	381,237	3,215
	増減	-72,237	-376
東京都	令和2年	25,642	155
	令和元年	30,467	133
	増減	-4825	+22
港区	令和2年	900	3
	令和元年	1,256	2
	増減	-356	+1

区内3件の死亡事故の概要

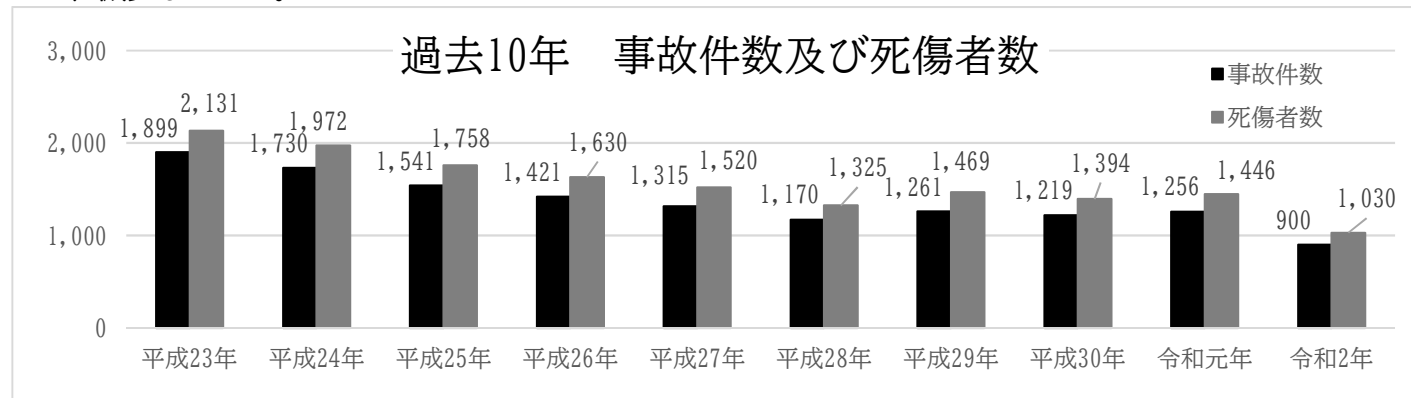
日時：令和2年2月4日（火）午前7時55分 場所：虎ノ門1-21（環二） 状況：登校中の男性8歳（小3）が横断歩道を歩行中に左折してきた乗用車に轢かれ死亡。
日時：令和2年2月16日（日）午前2時55分 場所：虎ノ門1-23（環二：虎ノ門トンネル） 状況：男性24歳の自動二輪単独事故。
日時：令和2年10月19日（月）午前11時ごろ 場所：港南3-1（区道） 被害者：女性80歳（区民）が横断歩道で、トラックの運転手が右折時に気付かず衝突。

(2) 交通種別死傷者数 (1 ページ目)

	自動車	自動二輪	原付	自転車	歩行者	その他	計
死者	0	1	0	0	2	0	3
負傷者	405	130	43	259	189	1	1,027

(3) 交通事故件数及び死傷者数経年表 (2 ページ目)

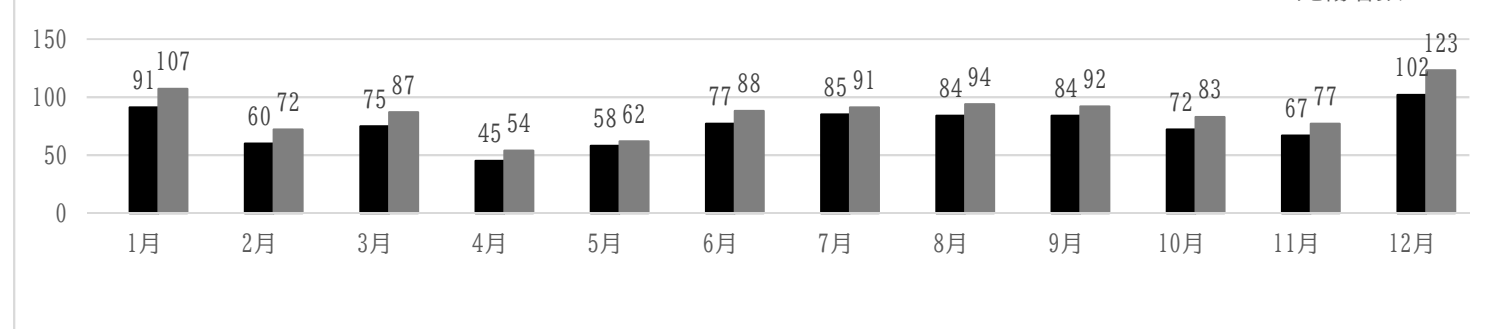
- 交通事故件数及び死傷者数が減少した。コロナに伴う緊急事態宣言（4/7～5/25）の外出自粛に伴い、減少している。



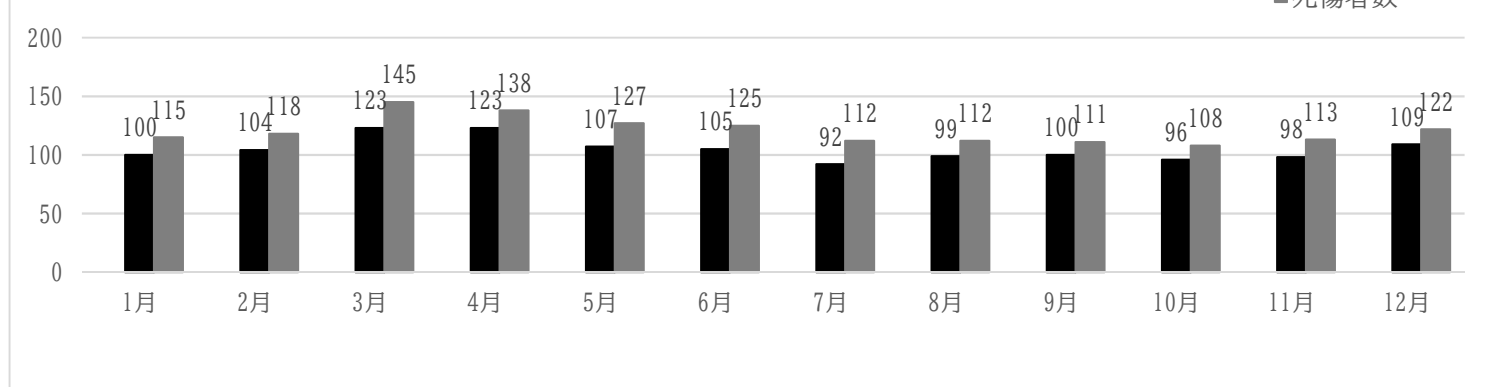
(4) 月別交通事故発生状況 (3 ページ目)

- 例年3月、4月は事故件数が多いが、今年の4月、5月は緊急事態宣言（4/7～5/25）の外出自粛により、事故件数は減少した。
- 事故発生件数の推移は（令和元年1月～6月：662件）（令和元年7月～12月：594件）（令和2年1月～6月：406件）（令和2年7月～12月：494件）コロナに伴い交通事故件数が減少したが、緊急事態宣言後の6月以降は事故件数が増えており、12月は例年とほぼ同じ件数となった（7件減少）。

令和2年 月別事故件数及び死傷者数



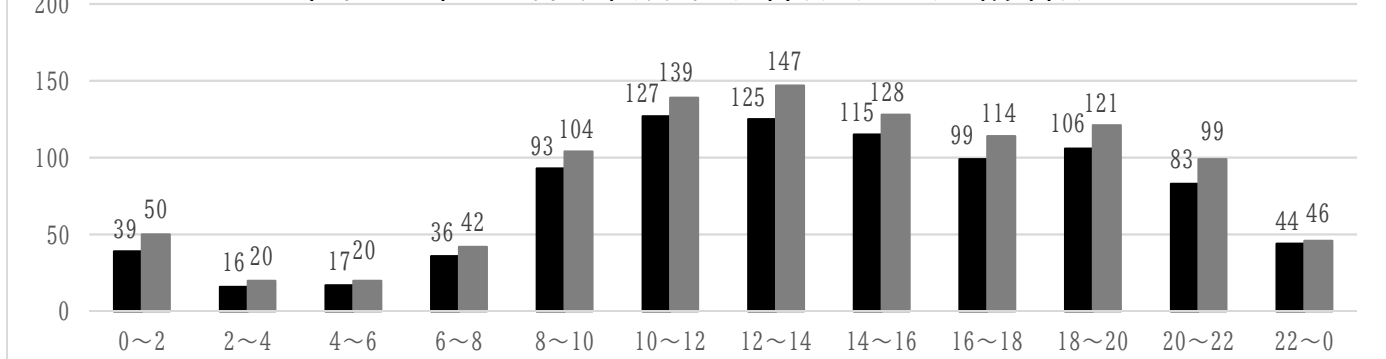
令和元年 月別事故件数及び死傷者数



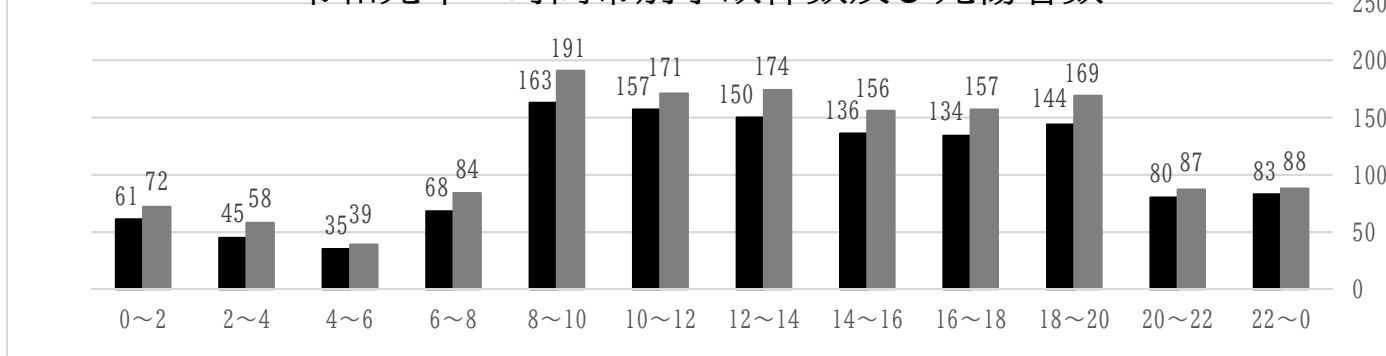
(6) 時間帯別交通事故発生状況 (4 ページ目)

- コロナウイルス感染症対策に伴う時差出勤やリモートワークなどにより、例年8～10時台の事故が多かったが、今年は10～12時台の事故が多い。また、夜22時以降も減少した。

令和2年 時間帯別事故件数及び死傷者数



令和元年 時間帯別事故件数及び死傷者数



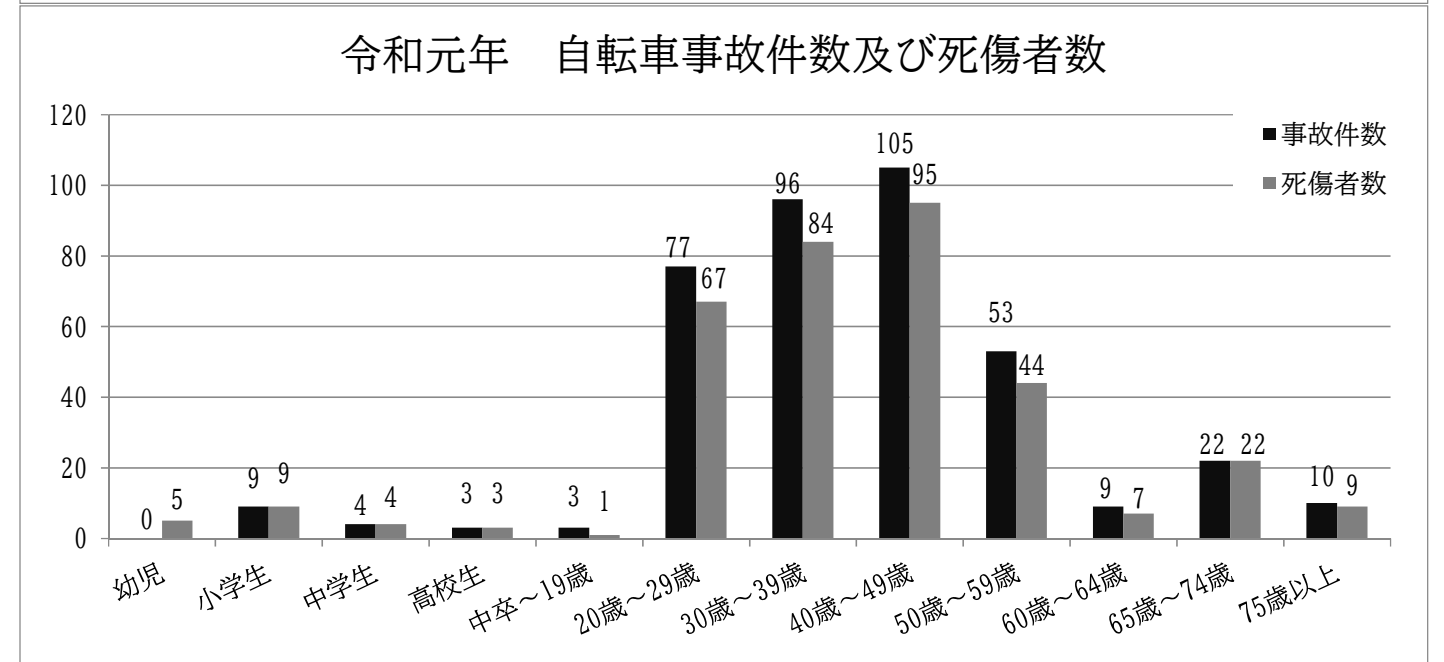
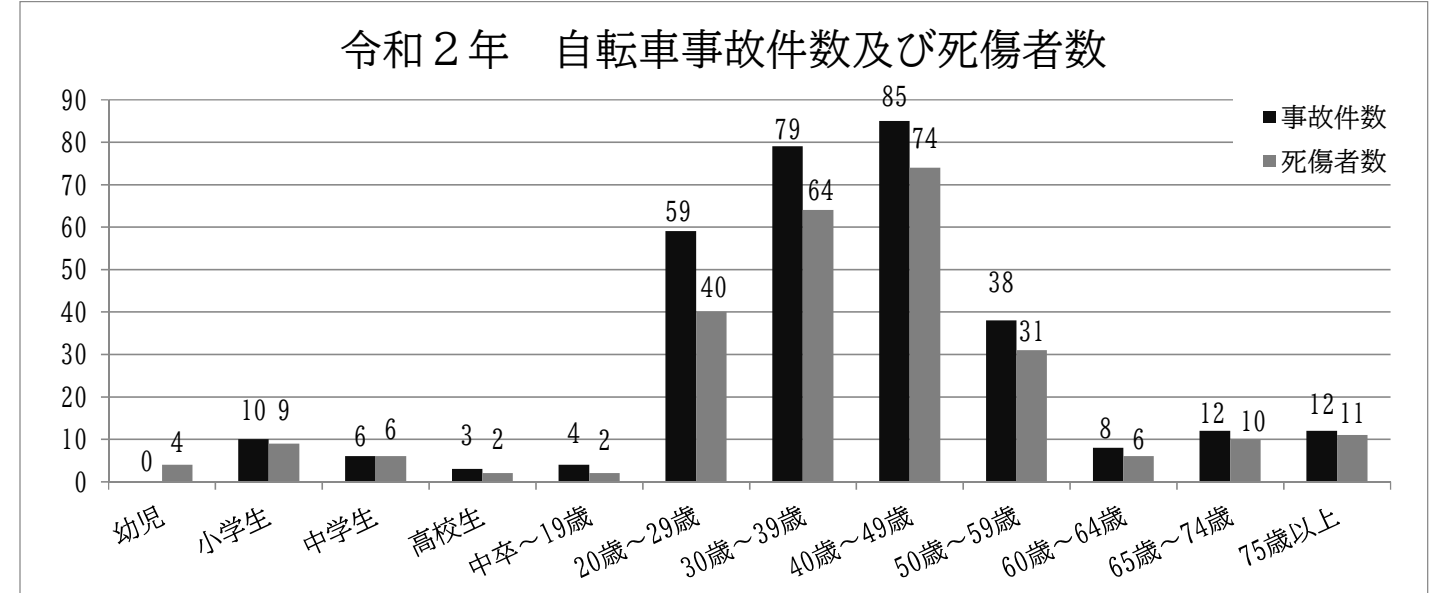
(8) 住所地別事故件数及び死者数 (5 ページ目)

・ コロナウイルス感染症対策に伴うテレワークなどの影響により、港区は昼間人口が多いことから、港区外居住者の事故件数は大きく減少した。

		事故件数			死者		
		R2	R1	増減	R2	R1	増減
港区内	男	115	111	4	1	0	1
	女	52	54	-2	1	0	1
	計	167	165	2	2	0	2
港区外	男	660	994	-334	1	2	-1
	女	61	73	-12	0	0	0
	計	721	1,067	-346	1	2	-1
不明	男	2	4	-2	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	不明	10	20	-10	0	0	0
	計	12	24	-12	0	0	0
合計	男	777	1,109	-332	2	2	0
	女	113	127	-14	1	0	1
	不明	10	20	-10	0	0	0
	計	900	1,256	-356	3	2	1

(13-2) 自転車事故及び死傷者年代別内訳 (11 ページ目)

・ コロナウイルス感染症対策の影響により、全体的に自転車事故件数及び死傷者数が減少した。

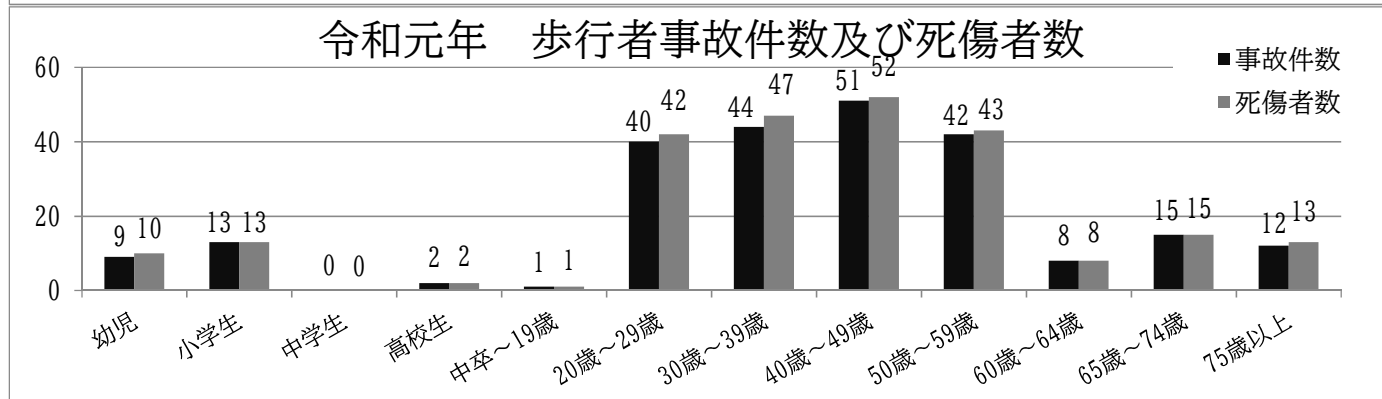
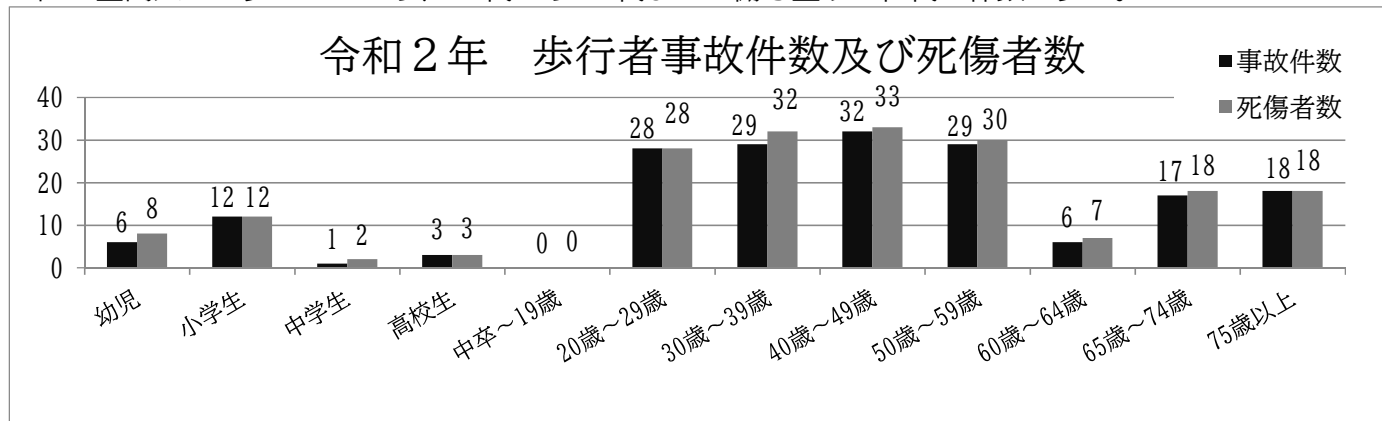


(9) 年代別事故件数及び死傷者数 (6 ページ目)

	事故件数 (第一当事者と第二当事者の計)			死者		
	R2 上半期	R2 下半期	増減	R2 上半期	R2 下半期	増減
子ども	18	17	-1	1	0	-1
高齢者	114	134	20	0	1	1

(12-2) 歩行者事故及び死傷者年代別内訳 (9 ページ目)

・ コロナウイルス感染症対策の影響により、全体的に歩行者事故件数及び死傷者数が減少した。港区は昼間人口が多いことから、20代から50代までの働き盛りの世代の件数が多い。



(15) タクシー関与の人身事故件数の推移 (13 ページ目)

・ コロナウイルス感染症対策の影響により、タクシー関与の人身事故件数が大幅に減少した。

